

2014年12月12～14日

宮城県東松島市 交流ボランティア & 福島県原発被害視察

～四日市東日本大震災支援の会 第24回派遣～

(暫定版 Ver.2) 2014年11月2日

四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

東北の被災地では、仮設住宅での不自由な生活が続き、4回目の厳しい冬を迎えようとしています。われわれが継続的に支援をしている宮城県東松島市では、ようやく災害公営住宅への入居が始まり、集団移転の土地の造成工事が進んで住宅の建築が始まろうとしています。しかし、引っ越しまで数年が予想されている方もいらっしゃる、まだまだ復興への道のは長くなることが確実視されています。仮設住宅では、高齢者比率が高くなり、孤立などの問題が深刻で、交流の促進など心の支援が必要とされています。支援の会では、再び高校生と大学生による交流イベントを企画します。この交流を通し、われわれができる東北支援を考え、さらには近い将来に予想されている南海トラフ巨大地震への備えをするきっかけになればと考えています。東日本大震災での経験を聴かせていただき、震災の教訓を伝えていきましょう。また、津波と放射能汚染で甚大な被害を受けた南相馬市で、語り部の方から被災のことを聴かせてもらいます。

宮城県東松島市；宮城県石巻市の西、松島町の東に位置し、2011年の東日本大震災では、沿岸地域だけでなく、海岸線から数キロ内陸まで津波が押し寄せ、住宅地の65%が浸水し、たくさんの方が亡くなり、多くの家屋が全壊・流失の被害を受けました。

福島県南相馬市；福島県浜通りの北部で太平洋に面し、震災では津波と放射能によって大きな被害を受けました。震災前は7万人を超える人口でしたが、現在、自宅に住むことができての方が3万5千人程度で、多くの方が今なお不自由な避難生活をされています。

<活動>

- 仮設住宅交流ボランティア (お茶会&クリスマスイルミ点灯式&ゴスペル・ライブ)
- 生活復興支援センター (サポセン)・仮設住宅集会所の大掃除手伝い
- 福島県南相馬市の視察・語り部 (NPO 法人つながっぺ南相馬) による原発被害説明

★申込方法・参加費

申込：以下の情報・書類を学校で取りまとめます。

★氏名・フリガナ・性別・生年月日・郵便番号・住所・携帯番号・緊急連絡先

★保護者と参加者本人がサイン・捺印した**参加同意書を提出**してもらいます。

参加費 *行程を縮小して、参加費の削減をしました。

生徒・学生 12,000円 (スタッフ(現地で5日以上活動を体験した支援の会会員)は6,000円)

一般社会人 27,000円

<費用の内訳>

- ・四日市大学ー宮城県の往復バス・現地での移動、13日の昼・夕食
- ・ボランティア活動保険・旅行保険

★12日の夕食・13日朝食・14日朝食・昼食・入浴は各自負担です。

申込先・参加費支払先

★四日市大学は鬼頭まで、看護医療大学は小寺まで。

★問合せ先：鬼頭；携帯電話：090-4266-2348

メール：kito@yokkaichi-u.ac.jp

キャンセルに対する考え方

・支援の会は、極めて財政的にギリギリの運営をしています。突然のキャンセルがありますと、支援の会にとって大きな痛手となります。12月1日以降のキャンセルの場合、新たな参加者の募集は困難であり、食事・保険など節減が可能な部分の費用を除いた、生徒・学生 10,000円、一般社会人 25,000円のキャンセル料をお支払いいただきます。ご理解ください。

がんばろう、
日本。

<スケジュール概要>★出発を 20:00 に、14 日の帰着が夕方 4 時頃になるよう調整しました。

★12月12日(金)

19:00 四日市看護医療大学 4 階、40B 教室に集合

1. 参加者全員で直前ミーティング
2. 名札・ボランティア保険証書を配布します(活動中は必ず首にかけてください)

20:00 四日市大学出発(四日市大学バス停裏の職員駐車場)

1. 最初の休憩(刈谷)では夕食の購入、2 回目の休憩で歯磨きなど寝る準備をしてください
2. 就寝(完全消灯をします。全席フルリクライニング)

★12月13日(土曜)

7:00 頃; 春日サービスエリアで朝食(各自負担)と洗顔(30 分程度の休憩)

1. 高校生は制服に着替えてください。
2. 東北の土産は、ここでしか購入できません。混乱しないよう、各自のカバンに入れてください。

8:00 東松島市大曲浜の視察(津波で壊滅的な被害を受けた大曲浜で被災体験を聴きます)

9:00 矢本運動公園仮設住宅集会所に到着、降車・荷物搬入・ミーティング

9:30 から準備と個別訪問(11 時半までには終了して集会所に戻る)

1. 戸別訪問チームは、高校生・大学生混成(3 人×5 班)、手分けをして案内配布
2. 準備チームは、集会所内の配置を決めて準備開始
3. 大掃除チームは、サポセンと集会所の窓を拭きます。

11:30 集会所にて昼食(弁当を支給します)

12:30 交流ボランティア(告知は 13:00 としますが、早めにスタートします)

16:00 イルミ点灯式&ゴスペル・ライブ ⇒ 終了後夕食(弁当を支給します)

20:00 希望者は「ゆふと」にて入浴(往復徒歩、約 1.7km、入浴料各自負担)

⇒翌朝の食事を各自コンビニなどで調達すること ⇒ 仮設住宅集会所で宿泊

★12月14日(日曜)

3:30 起床 片付け・掃除

4:00 バス出発(車内で朝食) ⇒ 出発してすぐのサービスエリアで休憩し洗面・トイレなどを済ませる

6:30~8:00 南相馬市で語り部の案内で被災地見学ツアー(日の出:6:45)

⇒福島県国道 6 号線を南下して帰路に

16:30 頃 四日市大学帰着 ⇒ 片付け ⇒ 解散

<持ち物(バス内では、座席には最小限の荷物だけを持ち込むこと)>

- ・筆記用具(活動中に記録をとる小さなメモ帳は必ず用意してください)
 - ・健康保険証・常備薬・歯磨きセット
 - ・お金(親戚やお友達などに、たくさん土産を買ってくることも、大きな経済的支援です)
 - ・かさ・帽子・電池式携帯充電器
 - ・エプロン(交流会では、全員が着用します)
 - ・ボランティア活動保険証書(支援の会で加入し集合した時に配布します)
 - ・マクラ・クッション・バスタオル・マスクなど(バス移動と集会所宿泊に利用)
 - ・入浴用タオル、着替え、ビニール袋 **★往復のバスではトランクに入れる**
- ★朝晩は、かなり冷え込みます。防寒対策をしてください。

<注意点、守るべきこと>

- ・被災者の気持ちに寄り添い、傷つけるような言動をしないこと
- ・積極的に被災者に対し、家族や友人、お姉さん、お兄さんのように笑顔で接しましょう
- ・家族を失ったり、家を流されたり、被災者が大変な経験をしていることを常に忘れないでください
- ・指示されたことだけでなく、自分で考えて行動しましょう
- ・名前や職業・住所を聞くことは、基本的に NG です。深い絆ができれば、交換も OK です。
- ・写真撮影は深い絆ができてからにしましょう
- ・活動中の写真や映像が、ホームページや報道で使われることがあります。了承ください。

<国道 6 号線の平均空間放射線量(経済産業省原子力被災者生活支援チームの評価)>

事故を起こした福島第一原子力発電所から最短で約 2km の帰還困難区域を通る国道 6 号線を通行します。瞬間的に 15 μ Sv 程度の箇所もありますが、車内での被ばくは以下の通りです。

- ・1 通行あたりのバス車内での被ばく線量は、胸部 X 線集団検診の被ばく線量の 60 分の 1 以下
- ・故障等で車外に出た場合においても、最高線量地点でも 1 時間あたり胸部 X 線の 3 分の 1 以下

<高速バス運行体制>

本会の東北派遣では、費用よりも安全という考え方を徹底しており、運転手 2 名体制での運行、運転手の現地での十分な休息確保をしております。そのため、現地での活動で不便なことがあります、ご了承ください。今後も、さらに安全運行を徹底するよう、会としても努力を続けます。

* JTB 総合提携店(株)第一観光(担当:黒田真史)を通じ、三重交通のバスで宮城県を往復します。